

ユネスコスクール 推進計画

1 ねらい

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を、教育活動全体を通して実現する。

2 ユネスコスクールについて

ユネスコスクールは、生徒の心の中に平和のとりでを築くことを目標としている。重視する4つの柱は以下の通りである。

(1) 知ることを学ぶ

複雑な世界の理解に備え、将来の学習のための基礎を作る

(2) 為すことを学ぶ

グローバル化する経済や社会において機能するためのスキルを身につける

(3) 人間として生きることを学ぶ

個人がそれぞれの知的・社会的な可能性を活かせる、バランスの取れた情緒と身体を育む

(4) 共に生きることを学ぶ

個人や社会が平和的に共存できるよう、社会のあらゆるレベルでの人種・民主主義・異文化理解と尊重・平和と人間関係に触れる

ユネスコスクールは持続可能な開発のための教育（ESD）の推進拠点である。

ESD:Education for Sustainable Developmentとは

持続可能な社会の創り手を育むため、現代社会における地球規模の諸課題を自らに関わる問題として主体的に捉え、その解決に向け自分で考え、行動する力を身に付けるとともに、新たな価値観や行動等の変容をもたらすための教育のこと。持続可能な社会の創り手の育成を通じ、SDGsのすべてのゴールの実現に寄与する。

SDGs:Sustainable Development Goalsとは

2030年までに先進国、途上国、国や企業、団体、個人が、あらゆる垣根をこえて協働し、よりよい未来をつくろうとして国連で決めた17の目標のことであり、2015年国連サミットで採択された。17の目標の下に169のターゲットと指標があり、個人でできること、学校や地域でとり組むことについてのヒントがある。



3 活動指針

- (1) 学校生活を通じて、個々の生徒が、自分で考え、また、仲間と協働して問題を見出し、解決を図ろうとする態度を醸成する。
- (2) 総合的な学習の時間や学校行事において、持続可能な社会や平和など、世界が共通に抱える課題に対し、何ができるかを考える機会を与える。
- (3) 子どもの権利条約に基づき、生徒会活動等を通して、生徒の声が教育活動全体に反映するようにする。

4 年間活動計画

月	活動主体	内容	SDGs (17の目標)との関連
4月	全学級	ユネスコスクールガイドダンス 学級憲章の制定	10 11 16 17
5月	保健福祉委員会	みどりの羽募金活動	15
6月	総合的な学習の時間	福島複合研修 (2学年)	8
7月	3学年	救急救命講習・福祉体験学習 (3学年)	3
7月	富谷市	台湾研修	17
8月	富谷市	生徒会サミット	11
9月 (12月)	2学年 (いちょう)	食に関する指導	2
10月	家庭科	幼稚園交流	17
12月	1学年	職業人の話を聞く会	8
12月	保健福祉委員会	赤い羽根募金	3 10
通年	全職員, 全校生徒	授業, 学校行事, その他学校生活等	4 12
通年	保健福祉委員会	健康観察	3
通年	保健福祉委員会	ベルマーク回収 冷水機交換	6
通年	給食委員会	フードロスを考える	2
通年	緑化整備委員会	植物の世話	15
通年	図書委員会	本の貸出・図書室まつり	4
通年	学年委員会	学年目標の設定 学年の課題解決への取組	17
通年	生徒会執行部 各学級	男女差のない学校生活	5
通年	生徒会執行部	ペットボトルキャップ集め	3
不定期	生徒会執行部	災害支援募金活動	17

5 関係諸機関との連携

- ・日本ユニセフ協会
ユニセフ手帳の配布, ユニセフ教室の実施
- ・富谷市子どもにやさしいまちづくり推進庁内連携会議
生徒会サミット, 総合計画審議会への参加

6 関連条文等 (別紙)

- ・ユネスコスクールガイドブック
- ・子どもの権利条約 全文